

報道関係者各位

住友不動産株式会社
麻布消防署

“地域の就労者、居住者とともに”防火防災を啓発
『IZUMI GARDEN 防火防災フェア 2018』開催
～地域防災拠点として港区と連携した帰宅困難者受入訓練を初実施～

住友不動産株式会社は、運営管理する再開発街区「IZUMI GARDEN※」において、麻布消防署、麻布消防団、港区、テレビ東京や地域の就労者、居住者とともに、秋の火災予防運動に先立ち、地域防災力の向上に寄与する防災啓発イベントを2018年11月1日(木)に開催致しましたのでお知らせいたします。※「六本木一丁目西地区」、「六本木三丁目東地区」2つの再開発街区を併せた名称。

当イベントでは、港区内で最大震度6強の地震が発災したことを想定して各種訓練を行っております。地域の皆様へ有事の際に防災拠点となる当街区を改めてご認識頂くとともに、近年多発する大災害への備えとして、最新鋭のVR防災体験車を通じて都市災害のリスクを再認識頂き、積極的な訓練への参加、有事に備えた消防演習の見学を促してまいりました。結果、全ての訓練等において合計2,000名超の方々にご参加いただきました。

また当社は、「六本木一丁目」駅直結の地域防災拠点となる重要な街区の管理者であることから、有事の際に必要な災害情報の発信や、街区初の港区と連携した帰宅困難者受入訓練を実施しました。

当社は、六本木一丁目エリアを代表する街区運営者として、引き続き防火防災を啓発する活動を定期的に開催し、地域防災力の向上に貢献してまいります。



避難訓練後の消防署による講評を聞くビル就労者



臨場感ある災害体感ができるVR防災体験車



災害情報発信訓練(災害情報の掲示)



帰宅困難者受入訓練(受入者の受付)

■ 防災拠点としての港区と連携した帰宅困難者受入訓練

当社は、管理運営する「六本木一丁目」駅に直結した大街区「IZUMI GARDEN」内施設の泉ガーデンギャラリー、ベルサール六本木グランドコンファレンスセンターにおいて、港区と提携しており有事の際には帰宅困難者を一時滞在施設として受け入れする予定です。

今般、駅直結の防災拠点として有事を想定し、駅前広場にて災害情報の入手が困難な来街者へ向けて迅速に災害情報、交通運行情報を掲示、続いてベルサール六本木グランドコンファレンスセンターへの帰宅困難者受入訓練を行いました。今般の訓練では、災害発生の際に駅直結の広場に滞留する帰宅困難者を港区の受入開始指示(想定)を受け施設へ誘導し、防災備品を配布するまでの運営想定訓練として実施いたしました。

～訓練の流れ～

- ・大地震発生
- ・防災センターにおいて災害本部の立上げ
- ・建物の安全確認
- ・災害・交通情報発信(日・英・中)
- ・帰宅困難者の受入準備
(災害ボード、テレビ設置、受付・救護班準備)
- ・港区からの受入要請を受信【想定】
- ・帰宅困難者 優先者より順次受入開始
1階駅前広場で受付、9階ベルサールへ誘導



防災備品・非常食等の配布



訓練後に行った参加者との質疑応答

本訓練は、港区が主導する六本木駅周辺施設の運営管理者で構成される「六本木駅周辺滞留者対策推進協議会」における施設見学会(実地訓練)も兼ねて実施されています。訓練には、帰宅困難者役となった地域居住者、就労者のほか港区をはじめ協議会メンバーも含め合計約60名が参加しました。訓練後には、参加者との質疑応答の場も設け「一時滞在施設」としての運営手順や課題を共有、本訓練の結果をフィードバックして、各施設においてより円滑な受け入れ態勢を構築するための確認を行いました。

■ 防火防災フェア概要

1. オフィス就労者避難訓練、消防演習

- ◆ 泉ガーデンタワー、住友不動産六本木グランドタワーの就労者約2,000名による避難訓練を実施、さらに麻布消防署による都市災害を想定した“がれき救出演習”も実施しました。

訓練想定：大地震発生、二次災害としてビル内火災が発生し初期消火で鎮火せず避難誘導を実施。



避難所へ集合する住友不動産六本木グランドタワーの就労者



消防署による“がれき救出演習”

2. 東京消防庁音楽隊・カラーガーズ隊コンサート

◆訓練に参加した多くの地域就労者、居住者の皆様に、防火防災を呼びかけるため、東京消防庁音楽隊・カラーガーズ隊をお招きしてコンサートを開催しました。東京メトロ南北線六本木一丁目駅直結の駅前広場で実施したため、駅利用者の方々にも楽しんでいただくことができ、地域における防火防災に尽力する当街区の存在感も高める事ができました。



東京消防庁音楽隊



東京消防庁カラーガーズ隊

3. 東京消防庁が導入した最新鋭のVR 防災体験車ほか、各種防災体験

◆体験訓練では、平穏な日常を送るなか、いつ起こるかも分からない大災害に備えるため、東京消防庁が今春より新たに導入した国内に1台しかない最新のVR 防災体験車に参加していただきました。リアルな映像、音などを流し仮想現実の中で大地震の被災体験をし、災害時の被災がどのようなものか、日頃の備えに必要なことなど再認識して頂ける体験装置です。参加した皆様に、防災対策への理解を深めていただいた上で、各種訓練にも積極的にご参加いただきました。



VR 防災体験車・被災仮想体験



仮想体験する地震のイメージ画像

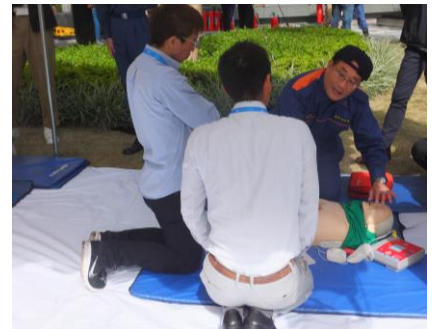
©東京消防庁



起震車体験

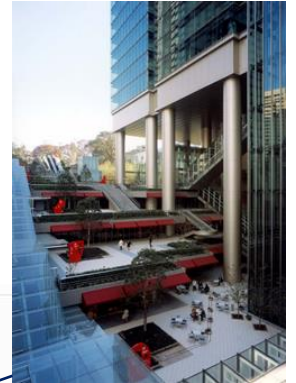


放水体験訓練



AED 体験訓練

大街区『IZUMI GARDEN』



＜駅前広場 1 階(地下鉄駅改札階)＞

＜庭園と美術館＞

＜歩行者通路と段状広場：サンクンガーデン＞

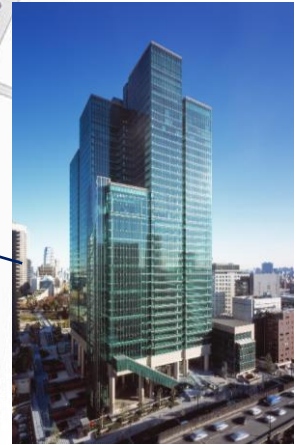
＜オフィス棟：住友不動産六本木グランドタワー＞



＜商業棟：六本木グランドプラザ＞



＜地上広場＞



＜オフィス棟：泉ガーデンタワー＞



＜ホテル：ヴィラフォンテーヌ六本木＞

「六本木一丁目」駅直結の施行区域約 6 h a の大街区「IZUMI GARDEN」

2002 年に開業した「泉ガーデンタワー」、2016 年に開業した「住友不動産六本木グランドタワー」をそれぞれ中核とする 2 つの街区は、それぞれ再開発を経て、駅前拠点に相応しくオフィスのほか**多様な施設が配され幅広い多くの方が訪れる高い都市機能を有し、地域の新たな活動拠点ともなる街区を形成**しています。

住友不動産は、この両街区を結び「街をつなぐ」ことで、施設の相互補完や、訪れる人々が往来し新たな賑わいを創出するイベントや地域の防災啓蒙を促進する防災フェアなどを開催するエリアマネジメントにより、**相乗効果を生みだし地域の活力、魅力をさらに高めるために一つの大街区「IZUMI GARDEN」として一体運営**しています。

【「六本木一丁目西地区」概要】

地区区域：約 3.2ha
 延床面積：約 208,400 m²
中核施設：泉ガーデンタワー
 主な用途：事務所、共同住宅、店舗、ホテル、
 イベントホール、フィットネスクラブ、美術館ほか
 業務棟高さ：約 216m
 竣工：2002 年竣工

【「六本木三丁目東地区」概要】

地区区域：約 2.7ha
 延床面積：約 210,500 m²
中核施設：住友不動産六本木グランドタワー
 主な用途：事務所、共同住宅、店舗、
 貸し会議室ほか
 業務棟高さ：約 231m
 竣工：2016 年建物完成

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

住友不動産株式会社 広報部：住友 TEL/03-3346-1042